

コミュニティバス利用促進意見交換会（更木地区）

2011年2月28日 14:00～15:00 更木地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつとこれまで行ってきた話し合いの説明があり、コミュニティバス利用促進意見交換会が開催されました。

次年度のコミュニティバスの運行方法および 目標人数について



ポイント1

企画～運営～運行～利用促進の「主体」の考え方

- ・運行モードにより各主体は異なる

ポイント2

地域マネジメントの視点の確認

- ・地域は利用・企画・運営（利用促進）を地域マネジメントの視点から推進

ポイント3

モニタリング及びチェックのサイクル(案)の共有

- ・地区の乗降人数を指標とし、モニタリング及び対応策の検討

更木地区の目標人数は

一日当たり **31人**（現状 17人）

また、いわてNPO-NETサポートより、コミュニティバス利用促進のための他市の事例紹介がありました。

意見交換

上八天、山寺までの運行は考えられるか。

現行の運行内容で利用人数を維持、増やす取り組みと並行して、同様の要望が多い場合は協議する。

目標人数を達成することは難しいように思える。現在、週2回運行されているが、最終的には、週1回運行というのは可能か。

その辺の決まりは特にない。

乗車人数の状況を見ながら、定期的に協議をしていく。地域の足を確保するため、乗客を増やす工夫が必要である。

見直しは毎年されるのか。

今回は、最大1年半後の時点で、乗車状況を見て判断することとする。判断にあたっては3カ月おきに情報交換の場を設け、情報共有を図り、改善策を考えていく。

コミバスで他地域に出かけるイベントをつくる等、新たな乗客を増やす工夫が必要ではないか。また、自分たちの地域のイベントに合わせ、乗客を引きこむ取り組みも考えられる。

自治公民館ごと、フレデイ等でコミバス説明会をしてほしい等の要望については、日程調整の上伺うこととする。